自宅にいながらあなたも大学生。

放送大学がスタート！

放送大学とは……。

留萌市民が長年待ち望んでいた大学「放送大学」が平成5年4月から正式にスタートをきりました。

放送大学は新しい時代の諸学と教養を、時代にふさわしい方法で学べ、高校卒業の直後だけでなく人生のどんな時期にでも、日本のどこに住んでいても、入学試験なしに誰でも入学できる、という新しい理念に基づいた大学です。

開講されている約300の科目はすべて、大学本部内の放送局から、テレビかラジオで毎日放送されています。全教科に用意されている印刷教材を併用することで、18歳以上なら誰でも、自宅で大学の学習を進めることができます。

しかし、放送は現在関東地域に限られていて、北海道は平成9年度以降（予定）全国ネットされるまで、放送された教材をVTRテープ等に収録して北海道大学構内にあるビデオ学習センターで、ビデオ／オーディオテープによる講義を視聴しながら単位認定試験を受けることになります。

放送大学は正規の大学です。4年以上在学して所定の単位を習得すれば、教養学士の学位を取得できます。

また、学士までは考えないけど、自分の興味のある科目を自由に学びたいという方も入学することができます。

こんな資格に道が開けます

▼学士（教養）

近い将来には、卒業すれば教養学士の学位が取得できるようになります。なお、短期大学や高等専門学校を卒業された方、大学に2年以上在学して62単位以上修得された方などの場合、全科履修生に編入学する方法などがあります。

▼教員免許状

現に中学校または高等学校の教員免許状を有している方は、放送大学で所定の単位を修得することにより、上位の免許状や他教科の免許状を取得するために必要な単位の一部を修得できる場合があります。

▼博物館の学芸員や図書館司書など

放送大学においても、学芸員などの資格を取得するために必要な科目のうち一部を取得することができます。

その他、国家試験の一部の免除、受験資格の取得の道が開けます。

道内自治体で唯一実施のセンター外視聴。

放送大学北海道ビデオ学習センターは北海道大学内にありますが、その他ビデオ学習センターのセンター外視聴として留萌市（地方自治体では唯一）と日高少年自然の家の道内2か所で実施されています。

このセンター外視聴は、留萌市中央公民館内で実施していますが、学生数51名。北は遠別町から通学しています。最高年齢者は73歳。さまざまな自分の目的を持ってそして達成のために毎週金・土曜日の午後から夜まで8台のテレビやラジオを利用して学習を続けています。現在、留萌で視聴できる科目は制限されていますが、今後、市民の要望に応えながら教科数を増やしていきたいと思っています。今は、公民館へ通っての学習ですが、近い将来、自宅のテレビやラジオから講義が流れて、全300教科の講義を学習できることになります。

また、卒業までの経費を計算すると現在の授業料で単純計算すると、放送大学を卒業するまでの総経費は511000円となり、札幌などの大学を卒業するまでの経費を考えると安くなっています。

そして自宅での学習。昼間、仕事をしながら夜の勉強など好きな時間を利用しての学習。これからのライフスタイルに合った大学です。

平成5年度第2学期入学生（10月入学）募集中！

放送大学は、第1学期入学（4月入学）・第2学期入学（10月入学）の二度の入学チャンスがありますが現在、留萌市中央公民館では、第2学期入学の選科履修生（十月から一年間在籍）と科目履修生（半年間在籍）を募集しています。

◆入学料と授業料は？

入学料は二種類あります。

選科履修生（一年間在籍）　2500円

科目履修生（半年間在籍）　1500円

留萌市では、集団入学をしています。

授業料は

一教科　8000円

（単位は2単位です。）

◆募集期間は？

7月15日～8月5日までです。

留萌の場合、集団入学のため締切が早くなっています。その以降入学されます と集団入学の対象になりません。

◆科目登録のお願い

300教科ある中から、各学生が自分の受けたい教科を選ぶわけですが、留萌の学生にはできるだけ中央公民館に希望教科を配架したいと思っていますので、事前にご連絡ください。

なお、放送大学の詳しい内容や受講できる科目が書いてある募集要項を中央公民館窓口で配付していますので、入学希望の方又は興味をお持ちの方は、窓口へお越しください。電話での問い合わせもご利用ください。

どうか現代の新しい教養を身につけて人生の視野を広げたい、仕事に役立つ専門知識を深めたい、資格を取りたい人と考えている方時代先取り思考の方の入学をお待ちしています。

◆連絡先

留萌市中央公民館指導係

☎2・3333番まで。

留萌で受講した科目

テレビ科目		ラジオ科目	
1	芸能と社会	1	情操の教育
2	家族法	2	技術史
3	日本の地方自治	3	生活指導の実際
4	衣生活の科学	4	行政法
5	太陽系の科学	5	哲学の基礎
6	法と手続き	6	家庭教育
7	美と芸術の理論	7	ロシア語Ⅰ
8	地球と宇宙（地球編）	8	ロシア語Ⅱ
9	民法	9	中国語Ⅱ
10	生活と美術	10	食と栄養の生態学
11	歴史にみる日本人と仏教	11	カウンセリング
12	美術史と芸術理論	12	社会福祉
13	博物館学Ⅰ	13	文芸史と文芸理論
14	衣服論	14	高齢者の福祉
15	アメリカ論Ⅰ		
16	住まいと環境		
17	社会心理学		
18	情報工学		
19	文化人類学		
20	民俗学		

平成5年度第1学期現在